

大川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和2年度(2020年度)実績の検証結果について

【基本目標Ⅱ】

基本目標	基本的方向
Ⅱ. 結婚から子育てまでの切れ目ない支援	<p>子育て支援</p> <p>・未来を担う子ども達が健やかに成長できるように、保育サービスの充実を図り、妊娠期から子育て期までのワンストップで包括的な支援・サービスを実施する。 ・未婚、晩婚による少子化対策として、相談会や婚活イベントなどを実施し、出会いの場づくりを行う。</p>

事業内容
<p>■1. 保育サービスの充実 民間保育園等に対する延長保育、一時保育への補助金、公立保育園における休日保育の実施。</p> <p>【延長保育】 447人 【一時保育】 374人・日 【休日保育】 112人・日</p> <p>■2. 子育て支援総合施設の整備と子育て支援の充実 ・子育て支援総合施設の整備 子育て支援総合施設の建設を開始し、施設の整備を行なった(令和3年度オープン)。</p> <p>・ファミリー・サポート・センター事業 生後3か月から小学生までの保護者(おねがい会員)が対象で、預かってくれる人(みまもり会員)が預かる(未就学児の預かり、学童の放課後の預かり、学童保育所への送迎、保護者の外出時の援助、保護者の病気時の援助等)。また、市内のおねがい会員には市が利用料の一部を助成する。</p> <p>大川市社会福祉協議会に業務委託 登録会員数:おねがい会員266名、みまもり会員58名、どっちも会員18名 活動件数:223件</p>

KPIの達成状況
<p>・子育て総合支援施設は、令和3年度にオープン。 ・その他は概ね順調に推移している。</p>

課題
<p>子育て支援総合施設の運営に関しては、新型コロナウイルス感染症対策に万全を期す必要があり、当面は人数を制限しながらの開館となりそうである。</p>

今後の方針
<p>新型コロナウイルス感染症の対策を十分に行いながら、できる事業から工夫して実施していく。また、コロナ後を見据え、HPや子育てアプリ等を利用しながら子育て総合支援施設の来館者数を増やす取組を実施する。</p>

KPI	策定時の現況値 ⇒R6年度目標値	R2年度 (2020年度)	R3年度 (2021年度)	R4年度 (2022年度)	R5年度 (2023年度)	R6年度 (2024年度)
延長・一時・休日保育の利用者数	883人 ⇒1,000人	933人				
子育て支援総合施設の利用者数	9,000人(現子育て支援センター利用者)	-				
ファミリー・サポート・センターの「みまもり会員」と「どっちも会員」の数	66人 ⇒100人	76人				

検証委員会からの意見等
<p>特になし</p>

基本目標	基本的方向
II. 結婚から子育てまでの切れ目ない支援	学校教育 ・「小・中一貫型教育」に取組み、将来の大川を担う子どもたちの確かな学力・豊かな心・健やかな体を育む教育を実践し、教育水準の向上並びに誇りと信頼ある学校教育を推進する。 ・多様な教育ニーズへの支援体制を充実させるとともに、郷土愛や国際感覚を育む教育を推進する。

事業内容
<p>■1たくましくしなやかに生きる力の育成(基盤の教育)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス等感染症感染拡大防止による臨時休校のため、全国学力学習状況調査は実施できなかった。大川市独自に標準学力調査(小学校)、実力テスト(中学校)を実施し、児童生徒の学習の定着状況を把握し、教師の授業改善と児童生徒の学習内容定着を図った。</li> <li>・「大川市『生活習慣・家庭学習』のすすめ」を各家庭に配布し、子ども達が夢や希望を持ち心豊かでたくましく成長するための家庭の責任と役割について啓発を図った。</li> <li>・新型コロナウイルス感染防止の観点から、全国体力・運動能力、運動習慣等調査が実施されなかった。各小中学校においては、校内で独自に実施した種目のデータをもとに、自校の過去のデータ等と比較して、「体力向上プラン」を作成している。</li> <li>・いじめ・暴力・不登校等の未然防止や早期対応のため、教育相談体制の充実を図るとともに、適応指導教室を開設。</li> </ul> <p>○スクールカウンセラー配置</p> <p>臨床心理士等のスクールカウンセラー(SC)を35週全中学校に配置した。小学校においては、県費として年間14時間活用できるように対応した。また、緊急を要する事態等が発生した場合は、スクールカウンセラースーパーバイザー(SCSV)と連携し、緊急対応をした。</p> <p>◆のべ相談件数・・・H29:865件 H30:686件 R元:590件 R2:839件</p> <p>○スクールソーシャルワーカー(SSW)</p> <p>児童生徒の家庭環境、複雑化した課題を解決するため、関係機関と調整・連携を図るスクールソーシャルワーカーを派遣した。</p> <p>◆令和2年度スクールソーシャルワーカー対応人数:25人</p> <p>○教育相談室開設</p> <p>3人の相談員により、電話や来室による相談の活動を行い、学校や専門機関、保護者等と連携しながら問題解決への対応を図った。</p> <p>○適応指導教室(りんどう教室)設置</p> <p>りんどう教室は、「さまざまな理由で学校に行くことができない子ども達について、教育相談、体験学習、生活指導を通じて児童・生徒の社会的自立及び学校復帰を支援する」と位置づけられており、3人の指導員とヤングアドバイザーが協力し、調理・ものづくり及び社会体験等を積極的に進めた。◆入室児童生徒数・・・H29:14人 H30:15人 R元:15人 R2:13人</p> <p>・総合的な学習の時間を中心に地域における福祉活動やボランティア活動を実施することができた。地域のよさに気づき人の役にたきたいという思いを持たせるために、大川市の伝統工芸や産業、伝統文化などについて総合的な学習の時間や社会科、生活科などを中心に学習を行った。</p> <p>■2.ふるさとに誇りと愛着を持ち、生き甲斐と豊かさを実感できる人づくり(人づくりの教育)</p> <p>子どもたちが、外国の生活や文化に慣れ親しみ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけることができるよう、小中学校に外国語指導助手を配置し英語の授業において活用した。小学校においては、英語専科教員(市費負担1名、県費負担3名)を配置し、教科化された英語について専門的知識・能力に基づく指導を行い、指導方法等を研究するとともに、研修を通して教員の指導力を育成した。</p>

KPIの達成状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス等感染症感染拡大防止により、実施できない調査が多かった。</li> <li>・不登校児童生徒の割合は、目標値を達成。</li> <li>・英語外部検定試験の得点率については、小学校で目標値を達成したが、中学校では目標値は未達成だった。</li> </ul>

課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期欠席児童生徒の種別(不登校、病気、家庭環境等)の明確化・統計への反映が出来ていない。</li> <li>・英語外部検定試験の結果を踏まえた、各技能の効果的学習方法の実施。現在は、検定試験の結果が年度末に出されるので、学校の対応が遅れる。</li> </ul>

今後の方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度は、新型コロナウイルス等感染症感染拡大防止のための全国一斉臨時休校などにより、各種全国調査が中止となった。来年度以降は、本年度の取組に加えて、調査結果の分析等を行い児童生徒の育成に生かしていく。</li> <li>・体力テストの結果に基づいた「1校1取り組み」を中心とした、各学校の「体力向上プラン」を着実に実施していく。また、新型コロナウイルス感染防止への対応を行う中で、児童生徒の運動する機会の確保に努める。</li> <li>・長期欠席児童生徒の種別(不登校、病気、家庭環境等)を明確化し、統計へ反映させることできめ細かい指導に繋げる。また、不登校が長期化しないよう早期からの保護者を巻き込んだ一貫した相談・支援体制の推進を図っていく。</li> <li>・英語教育における小中高連携を図ることで、12年間を通じた系統的・継続的な英語指導を行うことにより、連携効果を感じられるようにしていく。(小学校専科教員の継続、中学校の教師が小学校へ出前授業、高校教師が中学校への授業など)</li> <li>・外部検定試験の実施時期の見直しや実施方法の検討。</li> </ul>

KPI	策定時の現況値 ⇒R6年度目標値	R2年度 (2020年度)	R3年度 (2021年度)	R4年度 (2022年度)	R5年度 (2023年度)	R6年度 (2024年度)
全国学力調査の全国を100とした標準化得点(国語、算数・数学)	小98.7% 中96.6% ⇒全国平均を↑	-				
全国学習状況調査で自尊感情「自分にはよいところがある」と答えた割合	小79.5% 中73.1% ⇒全国平均を↑	-				
全国体力テストで総合評価A(優れている)とB(やや優れている)の割合	小49.3% 中38.7% ⇒全国平均を↑	-				
不登校児童生徒の割合	小1/294人中1/20人 ⇒全国平均を↓	小1/175人 中1/31人				
全国学習状況調査で自己有用感「役に立つ人間になりたい」と答えた割合	小96.7% 中96.0% ⇒全国平均を↑	-				
英語外部検定試験の得点率	小60.9% 中43.2% ⇒全国平均を↑	小70.1% 中38.4%				

検証委員会からの意見等
特になし